

日本産樹木新報知 (3)

林 彌 栄⁽¹⁾

Yasaka HAYASHI: Notes on Japanese Trees and Shrubs (3)

22. **Fagus japonica** Maxim.

var. **pleiosperma** Hayashi, var. nov.

Folia alterna ovata vel ovatao-elliptica, acuminata basi rotundata vel obtuso-rotundata 5~7 cm longa 2.0~3.5 cm lata, nervis lateralibus 11~12-jugis, utrinque glabra, pedunculus glaber 2.2~3.3 cm longus, valvi involucris 4~6 mm longi pructus 2~5, pyramidalis, 6~8 mm longus.

Nom. Jap. *Hako-inubuna* (nov.)

Hab. in Hondo. Prov. Sagami; Mt. Tanzawa (Yasaka Hayashi, July 15, 1956, typus in Herb. Gov. For. Exp. Sta.)

23. **Quercus mongolica** Fischer

var. **grosseserrata** (Blume) Rehd. et Wils.

form. **laciniata** Hayashi, form. nov.

Folia pulcherrime laciniata.

Nom. Jap. *Hagoromô-mizunara* (nov.)

Hab. in Hondo. Prov. Uzen; Nishimurayama-gun, Nishikawa-chô (T. Mizuta, Aug. 31, 1956, typus in Herb. Gov. For. Exp. Sta.)

24. **Hydrangea involucrata** Sieb.

form. **sterilis** Hayashi, form. nov.

Flores omnes neutri singuli.

Nom. Jap. *Temari-tamaazisai* (nov.)

Hab. in Hondo. Prov. Sagami; Mt. Tanzawa (Yasaka Hayashi, Aug. 15, 1955, typus in Herb. Gov. For. Exp. Sta.)

25. **Skimmia japonica** Thunb.

var. **obovoidea** Hayashi, var. nov.

Folia lanceolata vel elongato-oblonga 5~10 cm longa 1.5~2.5 cm lata, pedicellus 0.8~1.0 cm longus, bacca 8~10 obovoidea 1.0~1.2 cm longa, semina ovato-elliptica 6~7 mm

(1) 浅川実験林主任

longa 2.0~2.5 mm lata.

Nom. Jap. *Nagami-no-tsurushikimi* (nov.)

Hab. in Hondo. Prov. Iwashiro; Mt. Azuma (Yasaka Hayashi, Sep. 20, 1956, typus in Herb. Gov. For. Exp. Sta.)

26. **Skimmia japonica** Thunb.

form. **rosea** Hayashi, form. nov.

Flores, calyces, et pedunculus rosei.

Nom. Jap. *Akebo-no-miyamashikimi* (nov.)

Hab. in Hondo. Prov. Musashi; Mt. Takao (Yasaka Hayashi et Yoshio Kobayashi, March 28, 1958, typus in Herb. Gov. For. Exp. Sta.)

27. **Skimmia japonica** Thunb.

var. **intermedia** Komatsu

form. **serrata** Hayashi, form. nov.

Folia coriacea petiolata, lanceolata, acuminata cum acumine obtuso, basi acuta obtuse serrata laevia 4~6 cm longa 1.3~1.8 cm lata.

Nom. Jap. *Nokoba-no-tsurushikimi* (nov.)

Hab. in Hondo. Prov. Iwashiro; Mt. Azuma (Yasaka Hayashi, Sep. 20, 1956, typus in Herb. Gov. For. Exp. Sta.)

28. **Zanthoxylum piperitum** (Linn.) DC.

form **hispidum** Hayashi, form. nov.

Foliola supra hirsuta, subtus hirtus, petioli et rhachi hispida.

Nom. Jap. *Arage-zanshyō* (nov.)

Hab. in Hondo. Prov. Rikuzen; Kinkazan (Yasaka Hayashi, Oct. 24, 1955, typus in Herb. Gov. For. Exp. Sta.)

29. **Helwingia japonica** (Thunb.) F. G. Diétr.

form. **lancifolia** Hayashi, form. nov.

Folia elongato-oblonga vel lanceolata, caudato-acuminata grosse-aristato-serrata 8~13 cm longa 1.5~2.8 cm lata.

Nom. Jap. *Hosoba-no-hanaikada* (nov.)

Hab. in Hondo. Prov. Shinano; Kitaazumi-gun Shirouma-mura (Kiyoshi Kitazawa, Aug. 20, 1957, typus in Herb. Gov. For. Exp. Sta.)

30. **Lonicera strophiphora** Franchet

form. **lancifolia** Hayashi, form. nov.

Folia lanceolata vel oblongato-oblonga 2.5~9.0 cm longa 0.7~2.7 cm lata, nervis

lateralibus 7~15-jugis, supra hirsuta, subtus dense pilosa.

Nom. Jap. *Hosoba-aragehyotanboku* (nov.)

Hab. in Hondo. Prov. Shinano; Kamikōchi (Yasaka Hayashi, June 20, 1955, typus in Herb. Gov. For. Exp. Sta.)

Appendix (herbaceous plants)

1. *Anemone flaccida* Fr. Schmidt

form. **rosea** Hayashi, form. nov.

Flores rosei.

Nom. Jap. *Usubeni-nirinsō* (nov.)

Hab. in Hondo. Prov. Musashi; Mt. Takao (Yasaka Hayashi, April 4, 1958, typus in Herb. Gov. For. Exp. Sta.)

2. *Metanartheceum luteo-viride* Maxim.

form. **latifolium** Hayashi, form. nov.

Folia obovato-elliptica 15~20 cm longa 6.0~7.0 cm lata; flores flavivirens, 8~12 mm longi.

Nom. Jap. *Hiroha-nogiran* (nov.)

Hab. in Hondo. Prov. Kōzuke; Mt. Omine (Yasaka Hayashi, June 4, 1957, typus in Herb. Gov. For. Exp. Sta.)

22. ハコイヌブナ (新称)

落葉の高木，高さ 15 m，樹膚黒褐色，葉は互生し，卵形または卵状楕円形，鋭尖頭，波状鋸齒，基部円形または鈍円形，長さ 5.0~7.0 cm，巾 2.0~3.5 cm，支脈 11~12 対，両面無毛，花梗無毛，長さ 2.2~3.3 cm，総苞片は 4~6 個，長さ 4.0~6.0 mm，堅果は三稜形で 1 殻斗内に 2~5 個，長さ 6.0~8.0 mm，殻斗は浅くして短小鱗片をこうむる。

産地 神奈川県津久井郡青根村丹沢山

採集者 林 弥栄

昭和 31 年 7 月 15 日，上記のところで筆者が発見採集したもので，ただ 1 本高木があつたのみである。標準型のイヌブナでは葉柄，葉裏などに長軟毛を有するが，この木のものはほとんど毛が見られない。また総苞片は通常 4 個であるがこの木では 6 個のものが多く，まれに 4 個のものが見られるにすぎない。堅果は三稜形をなし，標準型のものでは通常 1 殻斗内に 2 個あるのみであるが，これでは数多く通常 3~5 個あり，まれに 2 個のものを見るにすぎない。

この堅果の数多い特徴から，「ハコ」の名を与えた。

23. ハゴロモミズナラ (新称)

落葉の高木、高さ 14 m、胸高直径 28 cm、葉は互生してごく短柄を有し、羽状にやや深く分裂し、裂片は各側 13~15、披針形あるいは細い鎌形、鋭尖頭、長さ 1~5 cm ばかり、葉の形状以外はミズナラと同様である。

産地 山形県西村山郡西川町白岩

採集者 水田富雄

昭和 31 年 2 月 31 日、寒河江営林署経営課長水田富雄氏が発見採集されたものを、元林業試験場釜淵分場勤務、現農林省中央林木育種場原種課長塩田勇氏を通じ筆者に示されたものである。和名ハゴロモとは、その葉型により名付けたもので、これと外形の類似したものにカシワ型のクジャクガシワ・ホウオウガシワ、コナラ型のハゴロモアオナラ・タレハハゴロモアオナラなどがあるが、本品種とは系統のちがったものである。

24. テマリタマアジサイ (新称)

落葉の灌木、葉は対生で楕円形または長楕円形で鋭尖頭をなし、辺縁に先端剛毛状に尖る細鋸歯を有し、質は薄いが両面ことに裏面に毛多く糙渋である。繖房状花序をなして淡紫色の花を開く。花房は装飾的不登花と正花とよりなることなく、すべて一重の装飾花(中性花)となる。

産地 神奈川県丹沢山

採集者 林 弥栄

昭和 30 年 8 月 15 日、神奈川県下丹沢山で採集したものである。また山麓の民家にも植栽されているのを見た。葉の形態その他はタマアジサイの基本形となんらのちがいは認められないが、上の記載のように花房が全部一重の装飾花(中性花)となり、一見アジサイ・ミナヅキ・テマリバナなどのようで美しい。タマアジサイの品種には、これまでヤエノギヨクダンカ・ヨウラクタマアジサイ・ココノエタマアジサイなどがあるが、これらはいずれも装飾花が種々なる形で八重花したものであるが、この品種では装飾花は全部一重である。本品種はすでに、植物研究雑誌第 31 巻 5 号(昭和 31 年 5 月)138 頁に発表済みのものである。

25. ナガミノツルシキミ (新称)

常緑の小灌木、葉は互生革質で長楕円状披針形をなし、長さ 5~10 cm、巾 1.5~2.5 cm ばかり、果柄は長さ 0.8~1.0 cm あり長い。漿果は 8~10 個生じ、倒卵形をなし長さ 1.0~1.2 cm、種子は卵状楕円形で長さ 6~7 mm、巾 2.0~2.5 mm あり長い。

産地 福島県下吾妻山

採集者 林 弥栄

昭和 31 年 9 月 20 日、福島県下吾妻山鳥子平下方、海拔およそ 1,500 m 付近で採集したものである。

ツルシキミに比し葉が長く、漿果が倒卵形で、ちょうど西洋梨をさかさにしたような形をしている。種子も基本型よりかなり長い。

26. アケボノミヤマシキミ (新称)

常緑の小灌木，葉は互生し，革質で長楕円状倒披針形をなし全辺で無毛，葉面に小さい油点を散布する。萼・花梗・蕾・花瓣はいずれも紅色を呈する。

産地 東京都下高尾山

採集者 林弥栄および小林義夫

昭和33年3月28日，高尾山で採集したものである。基本種の萼・花梗・蕾・花瓣が白緑色であるに比し，本品種は萼と花梗は紅色でやや褐色を帯び，蕾と花瓣は紅色を呈する。特に蕾の時は美しい。和名は蕾・花瓣などの色彩によつたものである。

27. ノコバナツルシキミ (新称)

常緑の小灌木，葉は互生し，革質にして有柄・披針形・鋭尖頭・鈍端・鋭脚をなし，葉縁に鈍鋸歯を有し，長さ4~6cm，巾1.3~1.8cmばかりである。

産地 福島県下吾妻山

採集者 林 弥栄

昭和31年9月20日，福島県下吾妻山で採集したものである。

基本形のツルシキミには葉縁に鋸歯がないが，この品種には葉縁にはつきりした鋸歯がある。この葉に鋸歯のある形は吾妻山のほか奥日光黒岩山，宮城県下蔵王山などにも生ずる。

28. アラゲザンシヨウ (新称)

落葉の灌木，若枝に褐毛を密生する。葉は互生し，奇数羽状複葉で5~8対の小葉をそなえている。葉柄には褐色の毛を密生する。小葉はきわめて小形で0.3~1.7cm，葉表面有毛，葉裏には薄褐色の短剛毛を密生する。また葉柄・花梗には薄褐色の剛毛を密布する。

産地 宮城県下金華山

採集者 林 弥栄

昭和30年10月24日，宮城県下金華山で採集したものである。

基本形にくらべると，小葉が著しく小形であり，葉裏に薄褐色の短剛毛を密生し，かつ葉柄・花梗などに薄褐色の剛毛を密布する特徴がある。

29. ホソバナハナイカダ (新称)

落葉の灌木，葉は有柄互生し，長楕円形または披針形をなし，鋭尖頭・尾状を呈する。葉縁には粗芒尖鋸歯あり，長さ8~13cm，巾1.5~2.8cmばかりである。

産地 長野県北安曇郡白馬村東山

採集者 北沢 清

昭和32年8月20日，北沢氏が上記の場所で採集し，筆者に示されたものである。

葉が基本種に比し著しく細長く，先端尾状を呈する。また葉縁の芒尖鋸歯の数が少ないなどの特徴がある。

30. ホソバアラゲヒヨウタンボク (新称)

落葉の灌木，葉は対生で，長楕円形または披針形をなし，葉の両面に褐色をおびた長毛を密布する。漿果は紅色を呈し丸く，基部に尖った卵形の 2 苞をそなえる。花は漏斗形で淡黄色を呈する。

産 地 長野県下上高地

採集者 林 弥栄

昭和 30 年 6 月 20 日，長野県下上高地で採集したものである。基本種の葉が卵状楕円形をなすに比し，本品種は長楕円形または披針形をなし，著しく細長かつ褐色を帯びた長毛が多い特徴がある。

これはすでに，植物研究雑誌第 31 巻 5 号（昭和 31 年 5 月）138 頁に発表済みのものである。

付 録 (草本類)

1. ウスベニニンソウ (新称)

ニンソウの花色が紅色を呈するもので，高尾山に自生する。花色の程度には濃淡の差があるが，普通の白花品とはすぐ区別できる。葉も紅色を帯びている。今春筆者が採集したものである。

2. ヒロハノギラン (新称)

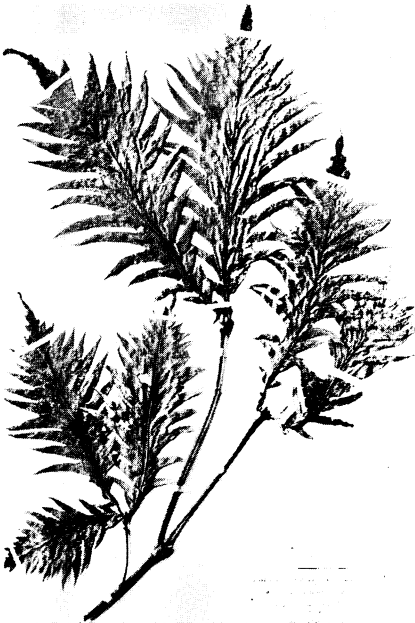
ノギランの葉巾が著しく広くかつ大形のもので，群馬県下の大峯山に産する。この山のもはすべてこの型で，一見ノギランとは思われないほど大きい。花もまた標準型のものより大形である。1957 年筆者が採集したものである。



22. ハコイヌブナ
Fagus japonica MAXIM. var.
pleiosperma HAYASHI



22. ハコイヌブナ
Fagus japonica MAXIM. var.
pleiosperma HAYASHI



23. ハゴロモミズナラ
Quercus mongolica FISCHER var. *grosseserrata* (BLUME) REHD. et WILS.
form. *laciniata* HAYASHI



24. テマリタマアジサイ
Hydrangea involucrata SIEB.
form. *sterilis* HAYASHI



25. ナガミノツルシキミ
Skimmia japonica THUNB. var.
obovoidea HAYASHI



25. ナガミノツルシキミ
Skimmia japonica THUNB. var.
obovoidea HAYASHI



26. アケボノミヤマシキミ
Skimmia japonica THUNB. form.
rosea HAYASHI



27. ノコバナツルシキミ
Skimmia japonica THUNB. var. *intermedia*
KOMATSU form. *serrata* HAYASHI



28. アラゲザンシヨウ
Zanthoxylum piperitum (LINN.) DC.
form. *hispidum* HAYASHI



29. ホソバナノハナイカダ
Helwingia japonica (THUNB.) F. G. DIETR.
form. *lancifolia* HAYASHI



30. ホソバアラゲヒヨウタンボク
Lonicera strophiphora FRANCHET
form. *lancifolia* HAYASHI